

## 福島県双葉郡檜葉町にやって来て

私は、自分の人生の最後の仕事は、福島でと思っていた。4月2日から福島県の任期付き職員として、檜葉町に派遣されることになりました

檜葉町は、JR常磐線のいわき駅から、北へ車で約1時間の所です。去年の9月に避難指示解除準備区域が解除されて、町に帰れるようになりました。28年3月末で、人口は7,357人、内、帰町して生活している町民は556人です。

町民の多くは、未だにいわき市と会津美里町の仮設住宅で生活しています。町に帰って来た小・中学生は、今まで通学していた、いわき市にある仮設の小・中学校に、町の借上げタクシーで片道1時間かけて通学しています。(タクシー代は東京電力に支払わせろ！)

檜葉町には、福島第2原子力発電所の原子炉が2基あります。東京電力は、福島第2原発を廃炉にすることを、未だに決定していません。また、檜葉町には、F1(福島第1原発)の廃炉の困難な作業を担っている作業員の拠点、Jヴィレッジがあります。作業員を乗せた大型バスが、JヴィレッジとF1を結ぶ国道6号線を、ひんぱんに往復しています。まさにここは、F1の事故処理と廃炉のための最前線基地なのです。

私が町役場で仕事をするに当って、役場の担当者は、「上田さんのために、雇用促進住宅を用意しました。まだ改修したばかりなので、電機製品が揃っていません。出来るだけ揃えますから。」と言ってくれました。私は好意に甘えて、「ついでに賄いの女の人も揃えてもらえないですか。」と言おうとしましたが、止めました。私の仕事振りが町の期待に反したら、町の好意はどうなってしまうのか、今から心配です。

雇用促進住宅は、6畳・6畳・4.5畳と6畳のダイニングです。ちなみに、気仙沼の仮設住宅は、4.5畳・4.5畳と4.5畳のダイニングでした。仮設住宅では坐っていて、立たなくても周りの物が取れましたが、雇用促進住宅では、物を取るために、その都度立って歩かなければならず、不便です。私は、6畳1間は、檜葉町に来てくれる人達の宿泊所にしようと思います。料金は、女性は1泊3食付で無料、男性は素泊まりで有料、なおかつ休前日は割増料金ももらいます。

私がショックだったのは、「今度福島へ行くことになった」と言った時、「お願い、福島だけは行かないで」と泣きすがってくれる人が、家族を含めてゼロだったことです。

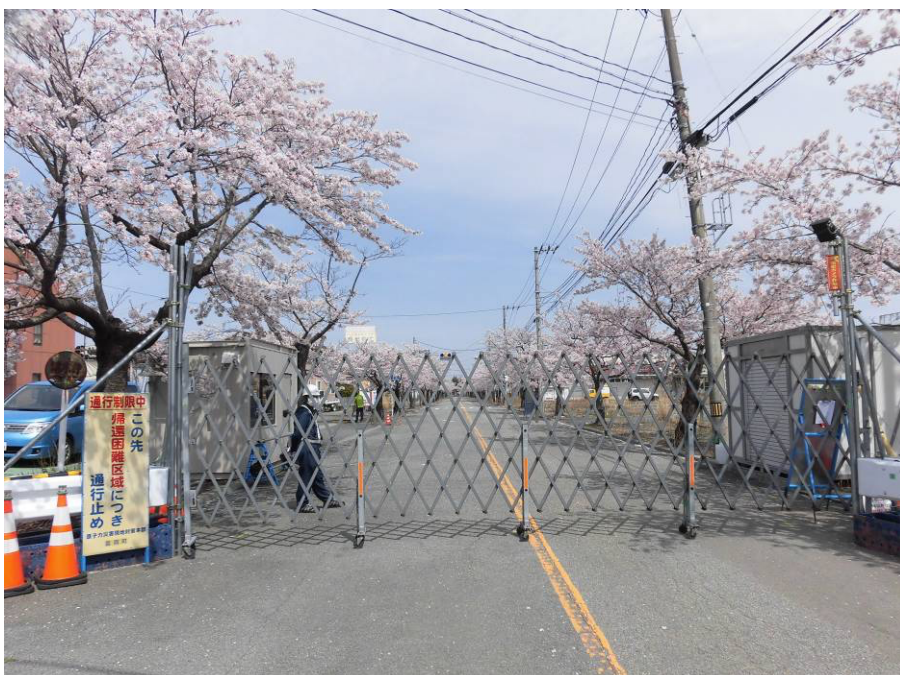
檜葉町の北隣は富岡町です。富岡町は来年春に、町へ帰れるようにする準備をしています。今のところ、檜葉町の町民は、放射能汚染されて除染された土地に住む、北限の人間です(北限のサルではない)。

同じレベル7の原発事故だったチェルノブイリ(現ウクライナ、原発関連死者約4千人)では、原発をコンクリートで覆って(石棺)、放射能に汚染された土地は、永久に立入り禁止にしました。しかし、ここ檜葉町では、放射能に汚染された土地を除染して、再び古里の街をつくるという、人類史上初めての試みが行われているのです。

【**檜葉町のデート・スポット 天神岬**】



【この先は帰還困難区域なので立入り禁止 JR 夜ノ森駅前桜並木（富岡町）】



【新住所】福島県双葉郡檜葉町